

【議案資料】議案第75号

四万十町汚泥再生処理センター建設工事請負契約の締結について

四万十町汚泥再生処理センター建設工事

落札者決定基準

平成23年11月

四 万 十 町

目 次

1. 総則	1
2. 落札者決定の概要	1
3. 資格審査	3
4. 提案審査	3

1. 総則

この落札者決定基準（以下、「本基準」という。）は、四万十町（以下、「本町」という。）が、「四万十町汚泥再生処理センター建設工事」（以下、「本工事」という。）を実施する事業者の募集・選定を行うにあたり、「四万十町汚泥再生処理センター建設工事総合評価審査会（以下、「審査会」という。）において、最も優れた入札参加者を選定するための方法や評価項目等を定めるものである。

2. 落札者決定の概要

1) 落札者決定の方法

本事業を実施する事業者には、設計・建設及び運営・維持管理に関する専門的な知識やノウハウが求められる。従って事業者の選定においては、入札価格のほか、入札金額以外の要素を加えて総合的に評価し、落札者を決定する「総合評価一般競争入札方式」を採用する。

また、総合評価方式の実施にあたり、公平性及び透明性を確保するとともに、客観的な評価を行うために、審査会から意見徴収を行った上で、本町が落札者を決定する。

2) 審査の進め方

審査は、第一審査として入札参加資格の有無を判断する「資格審査」、第二次審査として各事業者からの提案内容を評価する「提案審査」にて実施する。「提案審査」は、技術提案仕様書に示す内容を満足しているか否かを確認する基礎審査と提案内容を様々な視点から審査する技術審査によって行う。そして、それに入札価格の価格審査を加え、総合的に評価を実施し、最優秀提案事業者の選定を行う。

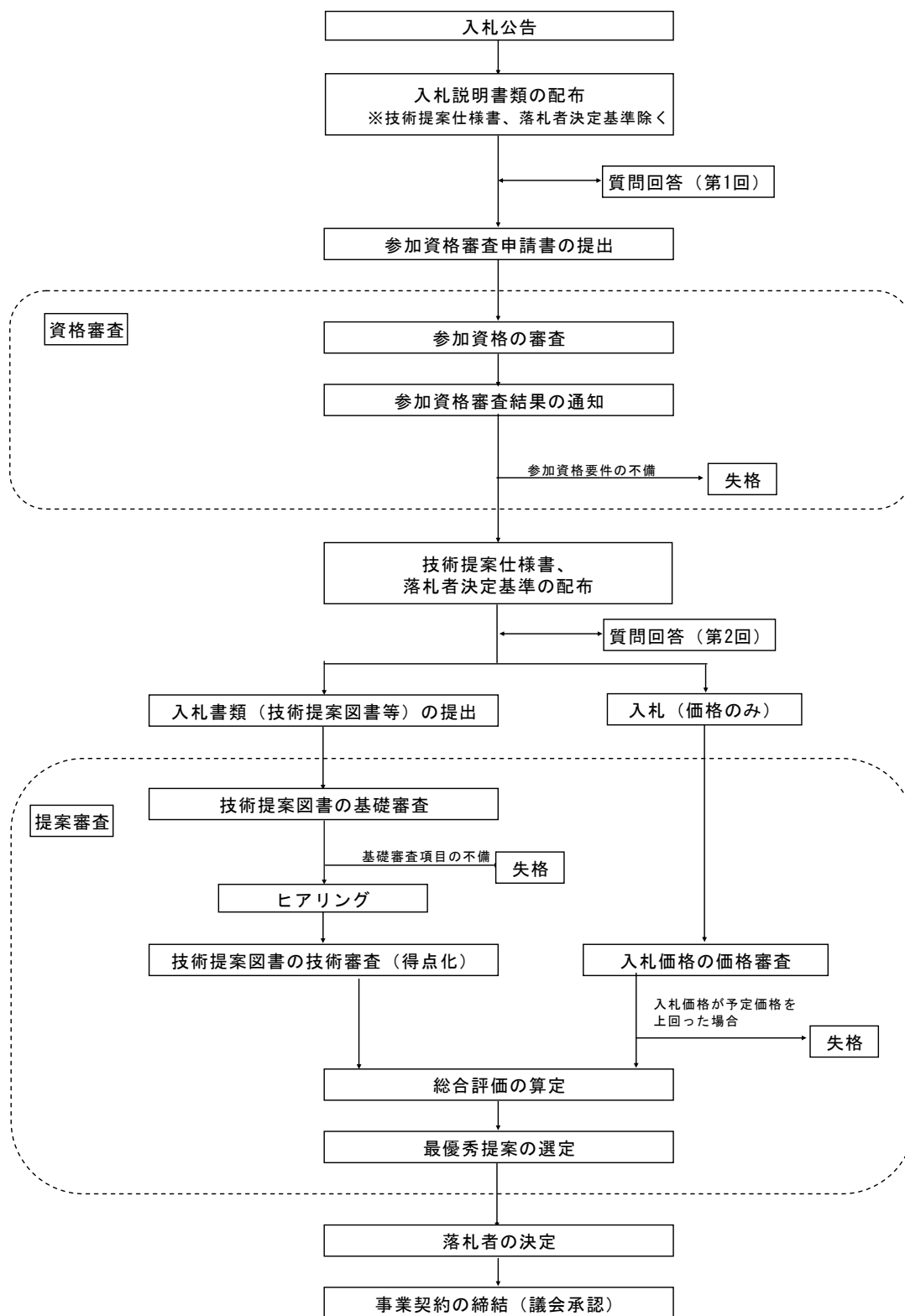
3) 審査体制

審査会は、入札参加者から提出された技術提案図書の審査を行う。なお、審査会は、入札参加者に対して技術ヒアリングを行う。

なお、入札参加者の構成員及び協力会社が、落札者決定前までに審査会の委員に対し、事業者選定に関して自己に有利になる目的のため、接触等の働きかけを行った場合は失格とする。

4) 審査の手順

本事業における落札者選定の流れは、次のとおりとする。



3. 資格審査

資格審査では、参加資格審査申請書類について、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「入札参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。

資格審査の結果、参加要件等を充足していない応募者は、失格とする。

4. 提案審査

(1) 審査における大項目別の配点

総合評価を行う上での技術評価及び価格評価の配点は次のとおりとする。

	配点
技術評価点	70点
価格評価点	30点
合 計	100点

(2) 入札価格審査

町は、入札書に書かれた金額が予定価格の範囲内にあることの確認を行う。予定価格の範囲外の入札参加者は失格とする。

(3) 技術提案図書の基礎審査

① 基礎的事項の確認

提案書に記載された内容が、下記の基礎的な事項について満足していることの確認を行う。

審査項目	審査内容
提出書類の確認	提出を求めている書類が全て揃っているか。また、指定した様式に必要な事項が記載されているか。
提出内容の矛盾・齟齬	事業提案書全体において、同一事項に関する提案に矛盾あるいは齟齬がないか。

② 技術提案の確認

入札参加者の設計・建設に係る提案内容が、町の要求水準及び性能に適合しているかの確認を「技術提案仕様書」に基づき行う。

(4) 技術提案図書の得点化

① 技術提案内容の得点化

技術提案書の内容について、審査項目ごとに評価段階に基づく5段階評価を行い、審査項目ごとの配点に評価段階における評価率を乗じ、審査項目ごとの得点を算出する。得点化の際は、小数点第3位以下は四捨五入し、小数点第2位まで求める。

評価基準

評価	評価基準	評価率
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.00
B	当該評価項目においてやや優れている	配点×0.75
C	当該評価項目において一定の評価ができる	配点×0.50
D	当該評価項目において、やや劣っている	配点×0.25
E	当該評価項目において、大変劣っている	配点×0.00

各評価項目の評価点は以下の算定式により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数点第3位を四捨五入した値とする。

(当該入札参加者の技術提案に関する得点)

$$= \Sigma (\text{各審査項目配点} \times \text{評価}) / \text{審査会委員の人数 (6名)}$$

② 評価項目と配点

評価項目・評価内容及び配点については、別表のとおりである。

③ 技術ヒアリング

入札参加者の設計・建設に係る提案内容の評価するため、技術ヒアリングを開催する。

(5) 入札価格の得点化

入札参加者の入札価格について、以下の考え方に基いて得点化を行う。得点化の際は、小数点第3位以下は四捨五入し、小数点第2位まで求める。

ただし、町が設定する評価対象下限価格以下の価格提示者は、提示金額にかかわらず、全ての提示者の価格点を満点とする。

① 最低入札価格 > 評価対象下限価格

$$\text{価格点} = \text{最低入札価格} / \text{入札参加者の入札価格} \times 30 \text{ 点}$$

② 最低入札価格 ≤ 評価対象下限価格

$$\text{価格点} = \text{評価対象下限価格} / \text{入札参加者の入札価格} \times 30 \text{ 点}$$

(6) 総合評価

① 総合点数の算出

技術提案内容に関する審査及び入札価格に関する審査により算出された項目ごとの点数を合計し、総合点数を算出する。

総合点数＝評価点＋価格点

② 優秀提案の選定

総合点数の最も高い提案を優秀提案として選定する。

(別表)

加算点の評価項目・評価内容及び評価の視点

基本方針等	評価項目	評価内容	評価の視点	配点	小計
環境にやさしい施設	周辺環境対策	周辺環境との調和	施設の外観・高さ・緑化計画等について、四万十川条例や景観計画等を配慮した計画となっているか。	3	12
	公害防止対策(稼働時)	放流量・水質	放流量の削減や水質の高度化を図る具体的な提案がなされているか。	4	
		臭気対策	施設全体の臭気漏洩防止、個別臭気対策及び排出濃度低減等の提案がなされているか。	3	
	公害防止対策(建設時)	環境保全対策	施工中の騒音、振動、排水、粉じんなどに対して、具体的な提案がなされているか。	2	
安全に配慮した施設	施設全体計画	全体配置計画	敷地の効率的利用を図り、全体動線を考慮した配置計画の提案がなされているか。	4	13
	作業動線	作業動線・見学者動線	各室及び各設備について見学者対応を考慮した合理的な作業動線計画の提案がなされているか。	3	
	安全対策	安全対策	作業員及び見学者の安全性に対して、具体的な提案がなされているか。	2	
	災害対策	災害対策	河川増水、水害等への対策として、施設全体およびプラント設備等への具体的な提案がなされているか。	4	
安定稼働に優れた施設	処理システム	水処理システム	長期的・短期的なし尿等の量的、質的変動への対応策が提案されているか。	3	18
		汚泥減量	余剰汚泥の発生抑制を含む減量化に対して、具体的な提案がなされているか	4	
	主要機器処理能力	機器の処理能力	要求する水処理性能、脱水性能等を達成するための具体的な提案がなされているか	4	
	運転管理	運転管理	長期的・短期的なし尿等の量的、質的変動に対応した効率的な運転管理及び補修時の運転停止期間短縮の方策の提案がなされているか。	4	
	技術力	施工実績	平成10年度以降の汚泥再生処理センター(新設)工事の施工実績(40kl/日以上)件数 10件以上→A、7件以上→B、5件以上→C、3件以上→D、3件未満→E	3	
資源回収機能を備えた施設	資源化	資源化計画	資源化物の製造方法、製造量及び品質確保に対して、具体的な提案がなされているか。	4	11
		利用・売却計画	資源化物の長期引き取りの安定性(利用促進策、過去の実績、有効利用先の確保と関心表明、売却単価など)に対して、具体的な提案がなされているか	4	
		製造環境	製造過程の自動化など、資源化物の製造における衛生面などの作業環境について具体的な提案がなされているか	3	
経済性に優れた施設	維持管理	維持管理費	長期的・短期的なし尿等の量的、質的変動を考慮した維持管理経費削減に関する具体的な提案がなされているか。	4	8
	省資源・省エネルギー対策	省エネルギー	施設・建設・施工・運転計画において、し尿等の量的・質的変動に対する省資源・省エネルギー対策について具体的な提案がなされているか	4	
その他	地域経済の活性化	地元企業等との協力・連携	地元企業等との協力・連携について優れた提案がなされているか。	4	8
		地域経済の活性化	本事業を通じての地域経済の活性化について、優れた提案がなされているか。	4	
合計					70